

2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東

コード番号

9273 URL https://www.koashoji-hd.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 一

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	5, 358	10. 6	1, 015	16. 6	979	11.8	605	△0.0
2022年6月期第1四半期	4, 845	18. 9	870	27. 0	875	25. 6	605	18. 1

(注)包括利益 2023年6月期第1四半期 622百万円 (22.3%) 604百万円 (△2.8%) 2022年6月期第1四半期

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	15. 29	_
2022年6月期第1四半期	15. 29	_

(2) 連結財政状態

(= / /C-1A//1-//17/10/			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	26, 250	18, 834	71.8
2022年6月期	26, 249	18, 665	71. 1

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 18,834百万円 2022年6月期 18,665百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2022年6月期	_	0.00	_	11. 00	11. 00				
2023年6月期	_								
2023年6月期(予想)		0.00	_	11.00	11. 00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
Ī	通期	百万円 22, 200	% 9. 1	百万円 3,950	% 3. 7	百万円 3,950	% 5. 2	百万円 2,450	% 3. 8	円 銭 61.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年6月期1Q	39, 619, 980株	2022年6月期	39, 619, 980株
2023年6月期1Q	1,356株	2022年6月期	1,356株
2023年6月期1Q	39, 618, 624株	2022年6月期1Q	39, 618, 668株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当日	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	四半期連結貸借対照表	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間	7
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
		(継続企業の前提に関する注記)	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
		(セグメント情報等)	8
		(会計方針の変更)	9
		(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の中、経済活動は正常化に向けて動き出しておりますが、急激な円安の進行、燃料価格及び原材料価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等により依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境の中、当社グループへの新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微でありました。円安の 影響は、原料等の仕入価格が変動するリスクがありますが、原薬販売事業では、必要に応じ為替予約等を行うこと や、海外サプライヤーへの価格交渉、為替連動型の価格設定への切替等により、医薬品製造販売事業では量産体制 の推進による生産効率の向上、コスト削減、販売価格の見直し等によりリスク回避に努めております。

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、2022年4月の診療報酬改定では、ジェネリック医薬品のさらなる使用促進を図る観点から、ジェネリック医薬品の使用割合が高い医療機関に重点を置いた評価の見直し等が行われました。その一方で、薬機法違反を起因とする品質面に関わる問題により、ジェネリック医薬品全体で供給不安が発生し、品質や安定供給の信頼性の確保が求められております。

当社グループではグループ各社間における無通告監査(抜き打ちの立入り監査)や、実地調査に赴くことがかなわない海外製造所等にリモート監査の実施、製造販売承認書と製造実態の齟齬にかかる一斉点検の実施等、製造管理や品質管理の強化を行っており、今後も継続して取り組んでいく予定としております。

また、2021年度から2年に1度の薬価改定に加え、中間年においても改定を行う毎年薬価改定が実施され、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなっておりますが、当社グループでは医薬品製造販売事業の特徴である注射剤において、ジェネリック医薬品への置換えが比較的進んでいない高薬理活性注射剤製造に注力するとともに、一層の生産性向上と医療関係者に必要とされる医薬品の安定供給に努めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,358百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益1,015百万円(前年同期比16.6%増)、経常利益979百万円(前年同期比11.8%増)、法人税等の合計額373百万円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益605百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、新規採用品目の伸長や、他社製品の供給停止による取引量の増加等により、循環器官用薬や抗生物質製剤向け原薬の販売が増加し、中枢神経系用薬向け原薬の販売が減少したものの、当連結会計年度の売上高は3,967百万円(前期比10.3%増)、セグメント利益は672百万円(前期比10.4%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高501百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造の主力製品が当該製品のジェネリック医薬品シェアの伸長により 堅調に推移したため、当連結会計年度の売上高は1,892百万円(前期比8.3%増)となり、セグメント利益は燃料や 原材料等のコスト増加があったものの、収率向上による生産性の改善等により337百万円(前期比28.5%増)とな りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べてほぼ横ばいの26,250百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加321百万円、商品及び製品の増加297百万円、原材料及び貯蔵品の増加99百万円等があったのに対し、現金及び預金の減少523百万円、減価償却実施等に伴う有形固定資産の減少136百万円、未収入金を始めとしたその他流動資産の減少37百万円、電子記録債権の減少33百万円等があったことによるものであります。

負債は7,415百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加429百万円、賞与引当金の増加65百万円があった一方で、未払法人税等の減少449百万円、未払費用を始めとしたその他流動負債の減少105百万円、長期借入金の減少72百万円、電子記録債務の減少30百万円等があったことによるものであります。

純資産は18,834百万円となり、前連結会計年度末と比べ169百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益605百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少435百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.6ポイント増加し、71.8%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年 6 月期の連結業績予想につきましては、2022年 8 月 10 日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9, 123, 370	8, 599, 899
受取手形及び売掛金	3, 662, 466	3, 984, 030
電子記録債権	4, 169, 136	4, 135, 337
商品及び製品	1, 505, 144	1, 802, 570
仕掛品	400, 428	433, 198
原材料及び貯蔵品	384, 702	484, 288
その他	160, 572	123, 079
流動資産合計	19, 405, 821	19, 562, 405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4, 853, 376	4, 873, 971
減価償却累計額	$\triangle 2, 144, 793$	$\triangle 2, 193, 512$
建物及び構築物(純額)	2, 708, 583	2, 680, 458
機械装置及び運搬具	3, 714, 364	3, 715, 511
減価償却累計額	$\triangle 1,910,485$	$\triangle 2,006,000$
機械装置及び運搬具(純額)	1, 803, 878	1, 709, 510
工具、器具及び備品	1, 252, 664	1, 259, 082
減価償却累計額	$\triangle 1,032,481$	$\triangle 1,042,939$
工具、器具及び備品(純額)	220, 182	216, 143
土地	1, 761, 774	1, 761, 774
建設仮勘定	48, 723	39, 232
有形固定資産合計	6, 543, 142	6, 407, 118
無形固定資産		• •
その他	52, 740	48, 492
無形固定資産合計	52, 740	48, 492
投資その他の資産		,
投資有価証券	63, 731	65, 508
繰延税金資産	138, 633	115, 127
退職給付に係る資産	34, 262	34, 350
その他	11, 602	17, 191
投資その他の資産合計	248, 229	232, 176
固定資産合計	6, 844, 113	6, 687, 787
資産合計	26, 249, 934	26, 250, 193
27/	20, 210, 301	20, 200, 100

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 464, 164	1, 893, 825
電子記録債務	658, 864	628, 572
短期借入金	850, 000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	349, 904	349, 904
未払法人税等	809, 405	360, 376
賞与引当金	48, 224	113, 894
その他	757, 440	651, 602
流動負債合計	4, 938, 004	4, 848, 175
固定負債		
長期借入金	2, 291, 192	2, 219, 192
繰延税金負債	6, 311	2, 865
役員退職慰労引当金	124, 588	127, 400
退職給付に係る負債	120, 339	120, 763
その他	103, 666	96, 913
固定負債合計	2, 646, 098	2, 567, 134
負債合計	7, 584, 102	7, 415, 309
純資産の部		
株主資本		
資本金	522, 277	522, 277
資本剰余金	205, 828	205, 828
利益剰余金	17, 920, 673	18, 090, 769
自己株式	$\triangle 407$	$\triangle 407$
株主資本合計	18, 648, 371	18, 818, 467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15, 990	16, 250
繰延ヘッジ損益	1, 469	165
その他の包括利益累計額合計	17, 460	16, 416
純資産合計	18, 665, 832	18, 834, 883
負債純資産合計	26, 249, 934	26, 250, 193
7 1 2 1 1 2 1 1 H H I	20, 210, 001	20, 200, .

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(<u>単位</u>:千円)

		(中匹・111)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4, 845, 773	5, 358, 608
売上原価	3, 478, 852	3, 837, 240
売上総利益	1, 366, 921	1, 521, 367
販売費及び一般管理費	496, 386	506, 256
営業利益	870, 534	1, 015, 111
営業外収益		
受取利息及び配当金	1, 391	859
為替差益	18, 867	_
受取手数料	3, 147	3, 088
補助金収入	2, 259	_
受取補償金	226	4, 922
その他	219	879
営業外収益合計	26, 112	9, 749
営業外費用		
支払利息	4, 483	2, 036
為替差損	_	42, 725
和解金	16, 000	_
その他		784
営業外費用合計	20, 684	45, 545
経常利益	875, 963	979, 315
税金等調整前四半期純利益	875, 963	979, 315
法人税、住民税及び事業税	267, 060	352, 795
法人税等調整額	2, 988	20, 619
法人税等合計	270, 049	373, 415
四半期純利益	605, 913	605, 900
親会社株主に帰属する四半期純利益	605, 913	605, 900

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

		(十四・111)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	605, 913	605, 900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,757	260
繰延ヘッジ損益	13, 897	△1,304
その他の包括利益合計	16, 655	△1, 044
四半期包括利益	622, 569	604, 856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622, 569	604, 856

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であるとの仮定のもとに、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループの経営成績への影響については軽微であり、会計上の見積りへの影響も軽微であると考えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

					(十四・111)
		報告セグメント	調整額	 四半期連結損益	
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計	調整領 (注) 1	計算書計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3, 097, 308	1, 748, 465	4, 845, 773	_	4, 845, 773
その他の収益	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	3, 097, 308	1, 748, 465	4, 845, 773	_	4, 845, 773
セグメント間の内部売上高 又は振替高	497, 754	-	497, 754	△497, 754	_
計	3, 595, 062	1, 748, 465	5, 343, 528	△497, 754	4, 845, 773
セグメント利益	608, 932	262, 406	871, 338	△803	870, 534

- (注) 1. セグメント利益の調整額△803千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。
 - 2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

報告セグメント			三田東女安 百	四半期連結損益
原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計	調整領 (注) 1	計算書計上額 (注) 2
3, 465, 704	1, 892, 904	5, 358, 608	-	5, 358, 608
_	_	_	_	_
3, 465, 704	1, 892, 904	5, 358, 608	_	5, 358, 608
501, 364	_	501, 364	△501, 364	_
3, 967, 068	1, 892, 904	5, 859, 972	△501, 364	5, 358, 608
672, 260	337, 249	1, 009, 509	5, 601	1, 015, 111
	3, 465, 704 — 3, 465, 704 501, 364 3, 967, 068	原薬販売事業 医薬品製造販売 事業 3,465,704 1,892,904 — — — — — — — — — — — 3,465,704 1,892,904 — — — — — 3,967,068 1,892,904	原薬販売事業 医薬品製造販売 事業 計 3,465,704 1,892,904 5,358,608 3,465,704 1,892,904 5,358,608 501,364 - 501,364 3,967,068 1,892,904 5,859,972	原薬販売事業 医薬品製造販売事業 計 3,465,704 1,892,904 5,358,608 - - - - - 3,465,704 1,892,904 5,358,608 - 501,364 - 501,364 △501,364 3,967,068 1,892,904 5,859,972 △501,364

- (注) 1. セグメント利益の調整額5,601千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。
 - 2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。